

北海道浮魚ニュース

平成11 (1999)年度22号 (通巻 No.68)

1999年10月15日

北海道立中央水産試験場	Tel :0135-23-8707	Fax :0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel :0154-23-6221	Fax :0154-23-6225
函館水産試験場	Tel :0138-57-5998	Fax :0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel :0162-32-7177	Fax :0162-32-7171
網走水産試験場	Tel :0152-43-4591	Fax :0152-43-4593

平成11年度北西太平洋サンマ長期漁況海況予報 漁期後半の見通し

10月13日に東北区水産研究所並びに各機関が共同で「平成11年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報 漁期後半の見通し」を発表しましたので、お知らせします。

【漁況】

漁況の推移

現在、三陸沿岸海域の表層は広く暖水に覆われており、暖水がサンマの南下を阻んでいるので10月末までは道東から襟裳岬にかけての沿岸海域を主体に漁場が形成されるであろう。

しかしながら、三陸沖暖水塊と津軽暖流との間には間隙(すきま)があるので、季節的な水温の低下とともに、10月下旬以降、三陸沿岸～常磐北部沿岸にも漁場が形成されるであろう。

ただし、調査船調査の結果から、サンマの来遊資源量自体が少ないと見込まれるので、好漁場が持続する可能性は低い。

漁況の経過は、近年では最も低い水準であった昨年並みに低調となるう。

漁獲物の組成

現在までの調査結果によれば、中型魚は千島列島沿岸に広く分布している。一方、現在まで大型魚の大きな群は発見されていない。時期的にも大型の群が次第に少なくなる時期に来ている。

したがって、今後の魚体は中型魚主体で推移するであろう。

【海況 (1999年10～12月)】

近海の黒潮の北限は $36^{\circ} 30' N \sim 37^{\circ} 30' N$ で推移する。

黒潮系暖水の北への張り出しは、沖合を中心に北寄りに推移する。

近海 ($146^{\circ} E$ 以西) では、11月までに $41^{\circ} N$ 付近まで張り出す。

沖合では $148 \sim 150^{\circ} E$ で $40^{\circ} 30' N$ を越えて張り出す。

色丹島沖及び三陸沖暖水塊は北東へ移動する。

常磐沖暖水塊は西に移動する。

親潮第1分枝は襟裳岬近海 ($41^{\circ} N$ 以北) にとどまる。

親潮第2分枝の張り出しは $39^{\circ} 30' N$ 付近までである。

冷水域が三陸近海に残る。

津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢 ($143^{\circ} \sim 143^{\circ} 30' E$ 付近) である。

(文責 釧路水産試験場資源管理部
直通電話0154-23-6222)